

ひゅーまん ねつとわーく

地域に生きる

2013年10月 発行 / 第55号

社会福祉法人北摂杉の子会

〒569-0071 大阪府高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル203 TEL 072-662-8133 FAX 072-662-8155 info@suginokokai.com



施設外でのグループ就労体験実習 ジョブサイトひむろ ぷれいすBe
農業組合法人 せせらぎの里にて

「ジョブジョイントおおさか -たかつきブランチ-」 開設のご報告



社会福祉法人 北摂杉の子会

常務理事 松^{まつ}上^{がみ}利^{とし}男^お

1. 「ジョブジョイントおおさか -たかつきブランチ-」開設の経緯

平成21年4月に、高槻市立「つきのき学園」（知的障害者通所更生施設）と高槻市立「かしのき園」（肢体不自由者通所訓練施設）の事業を継承するとともに、障害者自立支援法に基づく多機能型事業所（生活介護・就労継続B型・自立訓練・就労移行）として、「高槻地域生活総合支援センターぶれいすBe」が開設され、私ども法人がその運営を担って参りました。

「つきのき学園」「かしのき園」の継承事業としての経緯から、「ぶれいすBe」の利用をご希望される全ての両園ご利用者の受け入れを行いました。

それぞれ2年間の利用期限がある自立訓練事業と就労支援事業を利用されて、就労されたご利用者は4年間で7名（25年3月まで）おられました。開設当初より両事業の支援サービスとニーズが必ずしもマッチしていないご利用者もおられたことから、4年間の有期限利用である両事業の利用期限が25年3月に終わる方の「ぶれいすBe」における継続した支援の必要性が出て来ました。

高槻市と継続的な協議を行い、25年4月から生活介護事業30名定員を40名に、就労継続B型事業10名定員を20名定員に変更することといたしました。

その事業定員の変更により、有期限利用を終えられるご利用者のニーズに応え、「ぶれいすBe」での継続した支援が可能となりました。

しかし、従来からサービス提供を行って来ました自立訓練・就労支援事業（各10名定員）については、「ぶれいすBe」での活動場所の確保が困難であることから、今回、ご報告いたします新規事業所である「ジョブジョイントおおさか -たかつきブランチ-」として、その事業を引き継ぐことといたしました。

2. 「ジョブジョイントおおさか -たかつきブランチ-」について

ご説明いたしましたように「ジョブジョイントおおさか -たかつきブランチ-」はその経緯から、今後も「ぶれいすBe」との連携の中で、事業を行っていくこととなります。

また同時に、高槻市内には私ども法人が運営する多機能型事業所「ジョブサイトひむろ」で就労支援事業、大阪市淀川区には自閉症・発達障害のある人たちの支援に特化した多機能型事業所「ジョブジョイントおおさか」で自立訓練・就労移行支援事業を行っている関係から、両事業所とも連携を密にしながら、障害のある人たちの企業就労ニーズに応え、一人でも多くのご利用者の企業就労の実現に向けて、今後とも支援の質を磨き上げて参る所

存でございます。

高槻市内の就労支援事業所の現状を見ますと、全ての支援サービスにおいて、自閉症・発達障害のある人たちに対するサービスの提供が不足しています。

そこで、新たに開設する「ジョブジョイントおおさか -たかつきブランチ-」は、主として自閉症スペクトラム障害のある人たちの就労支援という役割と機能を担い、「ジョブサイトひむろ」は、主として知的障害のある人たちの就労支援という役割と機能を担うことといたしました。

「ジョブジョイントおおさか -たかつきブランチ-」のご利用については、現在、法人ホームページ上に

事業所見学会・説明会の予定がアップされていますので、ご確認いただければ、幸いに存じます。

今後のご連絡、事業所の場所・住所については、以下に記載しておりますので、ご質問等ございましたら、ご連絡頂きますように、お願いいたします。

以上、「ジョブジョイントおおさか -たかつきブランチ-」開設の経緯と事業開設についてご説明、ご案内をさせて頂きました。

今後とも私ども法人事業、特に今回、開設いたしました「ジョブジョイントおおさか -たかつきブランチ-」の運営につきまして、ご支援を賜りますように、衷心より、お願い申し上げます。

『ジョブジョイントおおさか -たかつきブランチ-』へのアクセス



【お問い合わせ・ご連絡先】

社会福祉法人 北摂杉の子会

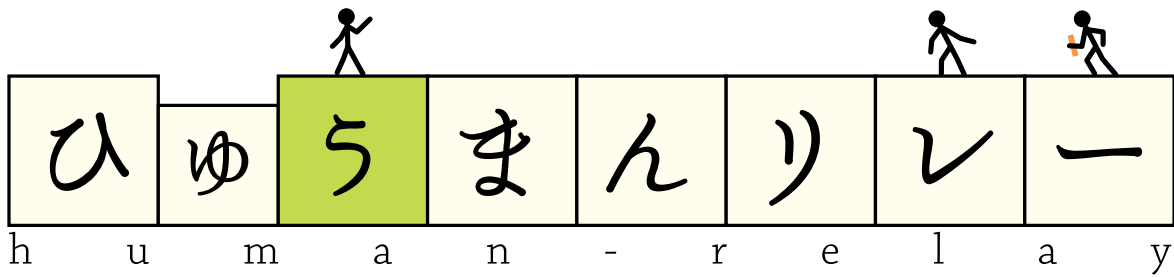
『ジョブジョイントおおさか -たかつきブランチ-』

所長 高橋 亜希子

〒569-0072 大阪府高槻市京口町9-3 関西産業ビル4階

TEL 072-668-1123 FAX 072-668-1165

Email jj@suginokokai.com



デザイナー poRiff 代表 やぶうち みやこ 藪内 都さんより

『いっしょにやる。』

－ 現場に特化したデザインの実践 －

はじめまして。藪内都です。私は京都造形芸術大学のこども芸術学科を卒業した後、同大学院で『福祉とデザイン』について二年間研究制作を行い、今春大学院を修了しました。

私たちの身の回りにあるもののほとんどが使い勝手がいいように、またはかっこよく、かわいく日常が彩られるようにデザインされています。施設製品も同様に、デザイナーの視点に加わることでより洗練された商品が市場に出回るようになってきました。それは今までのバザーや施設内のみで安価で流通されることがほとんどだった施設製品にとって画期的で、彼らの活躍の場はぐっと広がりました。しかし、デザインと言うのは善くも悪くもほとんどの行程がパソコンの画面上で成立してしまいます。膨大な数の絵画の中から、特定の才能のある作品が画面上で再構成され、市場に発信されていきます。その中にデザイナーと作者である本人との関わりは生まれづらく、デザイナーは作品のみと会話しています。

私は、障がいのあるひとの商品をデザインすることは、彼らの仕事や居場所を作ることだと思って

います。それは作り手が幸福でなければ成立しません。私のデザインは現場に出て、彼らと日常をもにすることから始まります。毎日の生活の中で、日々変わり行く彼らの感情や環境の微妙な変化をいっしょに感じて、同じデスクでいっしょにデザインを行っていきます。制作の姿勢から彼らの熱を感じ取り、自分自身が介入、編集出来る境界を見つけてデザインを行っていきます。そんな行為を繰り返しながら、福祉施設の日常にデザインの視点を取り入れることで商品だけではなく、障がいのあるひとが働きがいを感じ、日常が豊かになるような仕組みをつくっていきます。あくまでも現場主義で、「いっしょにやる」デザイン。私が実践している活動を紹介します。

● poRiff -カラフルポップビニールプロダクト！-
poRiffとは買い物の際に貰うレジ袋を※カラー
ジュシ、熱を加えることによって作られるシートの
ことです。これを裁断・縫製し、プロダクトに変えて
います。poRiffは現在大阪の二カ所の障がい者施
設によって制作され、主に百貨店のイベントスパー

スや全国の雑貨店で取り扱って頂いています。施設製品でありながら施設から独立した形で制作・販売を行うことで、複数の施設での制作を行っています。制作はビニール袋を裁断するひと、カラーージュするひと、熱を加えて圧着するひと、ミシンをかけるひとなど、それぞれ障がいの特性や得意なこと別に分業化して作業を行い、ひとつの商品を完成させています。商品を簡略化したもので出張ワークショップも全国で行っています。

poRiff → <http://poriff.com>



※カラーージュ

現代絵画の技法の1つで、フランス語の「糊付け」を意味する。あらゆる性質のばらばらの素材(新聞の切り抜き、壁紙、雑多な物など)を組み合わせることで、作品を構成する芸術的な創作技法

● FUJI/ おむすびアクセサリー

東大阪の生活介護事業所活動センターいっぽで非常勤のアートサポートとして活動を行っています。いっぽのメンバーの個性を発見し、商品開発やワークショップを行っています。FUJI/ おむすびアクセサリーは、メンバーが行っていたアイロンビーズの作業から、作りやすく、遊び心のあるデザインとパッケージに変化させて商品化したものです。おむすびアクセサリーは、アイロンをかけすぎて失敗してしまう行為から生まれた商品です。アイロンがうまくかけられないからこそ成立する、絶妙な色合いのプロダクトです。

NPO 法人活動センターいっぽ

→ <http://ippo-osaka.com/>



地域における包括的支援体制の構築をめざして ～地域連携を考えて～



株式会社淀川通信舎 「ザ・淀川」
しみず あきこ さんより
清水 晶子 さんより

小社淀川通信舎は、『ザ・淀川』という月刊のタウン誌を発行している小さな編集部です。毎月、淀川区の地域情報、行事やイベントのお知らせ、小さなニュースや読み物、地元のお店の広告などを細かくたくさん掲載し、9万部余りを発行・各家庭にポスティングをして皆さんに読んでいただいています。私は主に広告をいただく営業を担当しています。

ジョブサイトよどの皆さん・家族会の皆さんとは、南野佳代子前編集長が2007年ごろ、取材・紹介させていただいたことがきっかけでつながりができたようです。現在では、ジョブサイトよどの皆さんは、『ザ・淀川』のお客さまであり、ご近所さんでもあり、一緒にイベントを楽しむ仲間でもあります。

阪急十三駅から現在の編集部へ行きつくまでによどのコロッケの店舗があります。ときどきコロッケの種類が変わって見ても楽しいお店です。店舗以外でも商店街などさまざまなところで出店され、積極的にお客さんに呼び掛けている様子は明るくて、お店としてとても魅力的です。

小誌の広告特集（2013年7月・十三東特集）では「よどのコロッケ」として広告をいただき、スポンサー様としてもお世話になっています。この広告特集では、ページ内で各店舗のスタッフ様のご紹介コーナーを設けておりましたので、店舗で働かれていますよどの利用者さんにコメントをいただき、お写真付きで誌面に登場していただいたりもしました。

私自身は発達障害についての知識はほとんどなく、広告の打合せで店舗におうかがいした時に初めて施設利用者さんとお話する機会に恵まれました。その時に職員さんが利用者さんに仕事への支援をする様子を見ていろいろ質問させていただき、販売しているコロッケの行程すべてに利用者さんがかかわっていること、一日中施設でしっかり働いているということを知って驚きとともに大きな感動を覚えました。美味しいコロッケを丁寧に作り、空き時間にもコロッケの入れ物にひと工夫するような細かい仕事を休まずやっていることをもっと区内の人にも知ってもらえたら、と強く感じたことを覚えています。

編集部主催のフリーマーケット、十三東の神津神社をお借りして毎月13日に開催している“十三市”にも利用者さんと家族会の皆さんが出店してくださっています。皆さんと情報交換や世間話をするのが編集部の楽しみでもありますし、利用者さんの「コロッケいかがですか」という元気のよい呼びかけは、市の盛り上げ役にもなっています。

営業の外回り中に家族会の方と顔を合わせ「次はこんな行事をしますよ」と教えていただくことも多いです。例えば、ジョブサイトよどまつりの日程を『ザ・淀川』で告知したり、当日の取材にうかがい、事後記事として掲載もしたりしています。記事ではおまつりの落語やコンサートなどメインイベントの様子を主にご紹介していますが、施設中に飾られた皆さんの

油絵や模写、陶芸、文章などをじっくり見るのも楽しみの一つです。

今後も変わらず、皆様の活動を『ザ・淀川』で紹介していきたい。情報を積極的に載せて、施設内外の皆さんが交流できる機会をお知らせしたい。一般の方も参加できるようなセミナーやイベントなど

を開催されるようでしたら記事・告知として掲載いたしますのでぜひお知らせください。ジョブサイトよどの愛らしい建物が、グルメや芸術、様々な講座を発信する地域のスポットとしてもますます発展することを願っています。

寺田軌道株式会社 代表取締役 ^{てら} ^だ ^{ひで} ^き 寺田 秀喜 さんより

会社概要と「^{デコイチ}D51クラブ」

弊社は鉄道軌道（レール）の敷設及び保線業務に携わっています。具体的には鉄道利用客の皆さんの安全と快適性を常に確保する為に、線路の点検と保守整備等を行っていますが、夜間作業が多く地域住民のご協力を得て業務を遂行しています。このため、創業以来「地域貢献」を社是の1つに掲げ、駅周辺環境美化活動等を通じて地域との連携を図ってまいりましたが、平成23年から更なる地域との共生を目指して社内ボランティアグループ「D51クラブ」を立ち上げました。今日までに、東日本大震災支援（1年継続）と環境の保全、街づくりの推進、福祉の増進——を図る活動を展開し地域社会への感謝の念を表してきました。

北摂杉の子会との現在の連携

地域との共生を模索する中で、催事出店等で、得る収益を障がい者自立支援施設に寄付しようという目標を設定し、北摂杉の子会ふれいすBeさんを訪問したのは、平成23年8月初旬のことでした。爾来、下施設長のご指導のもとで施設行事に参加させていただくところとなり利用者の皆さんとの交流が始まりました。

経験の少ないD51クラブが得意とするのは、利用者の皆さんとの共同作業を通じての交歓であることから、餅つき大会とグルメ大会に協力させていた

だいております。これまで、平成24年1月、4月、平成25年1月、4月の4度にわたり楽しい時間を共に過ごすことが出来ましたが、このことが利用者の皆さんの自立支援活動の一助になればと願っています。今後も様々なかたちで施設の行事・催事に参加させていただければと考えています。

今後の高槻地区での連携を目指すもの

D51クラブが活動を開始して2年半が経過しましたが、この間、活動の趣旨に賛同してJR西日本吹田保線区、株式会社レールテック、有限会社伸幸軌道の有志の皆さんの参加を得ることができました。今後は、この輪を広げて自治会や他のボランティアグループなど地域が連携して活動を展開し、地域との共生による地域活性化を図っていかねばなりません。そのためには、D51クラブは積極的にイニシアチブを執り、高槻地区での支援体制を構築していきたいと思っております。



『行動に課題のあるご利用者の 行動改善の取り組み』



レジデンスなさはら 管理者

社会福祉士・介護福祉士 ^{ひら}平 ^の野 ^{たか}貴 ^{ひさ}久

レジデンスなさはらはジョブサイトひむろに通所されているご利用者を中心に、重い障がいのある方や、自閉性の障がいがあり、行動に課題のあるご利用者を対象に「どれだけ重い障がいがあっても地域の中で当たり前の暮らしを実現すること」を目的に平成24年4月に開設しました。

レジデンスなさはらに入居されているご利用者の障害程度区分は以下の通りです。

| 障害程度区分 | 男性 | 女性 | 合計 |
|--------|-----|----|-----|
| 区分6 | 11名 | 6名 | 17名 |
| 区分5 | 1名 | 1名 | 2名 |
| 区分4 | 1名 | 0名 | 1名 |
| 合計 | 13名 | 7名 | 20名 |

入居されている20名の平均障害程度区分は5.8となっています。

重い障がいのあるご利用者の地域での当たり前の暮らしを実現するために以下の取り組みを行っています。

1. 環境整備

① 入居ご利用者に合わせた設計（環境整備）

設計を株式会社二井清治建築研究所に依頼をしましたが、設計の段階で、ほぼ全員のご利用者が明確でしたので、早い段階で、棟割、部屋割りを決定し、入居されるご利用者に合わせて設計をしていただきました。個別にニーズをお聞きし、各居室のクロスやカーテンの色柄、ご希望があれば防音壁加工するなど、個別の環境整備を行いました。

② ご利用者の動線の整理

レジデンスなさはらは3棟からなり、各棟の南側に居室を配置し、北側に共用スペースを配置。ご利用者が使用する、洗面所、トイレ、風呂場などを東西の左右に配置し、ご利用者同士の動線が重ならないように設計しました。そのため、刺激が少なく、ご利用者の安定につながる環境整備となりました。

③ ユニットによる小集団での生活

各棟は6～7名の定員ですが、各自の状態や対人面の課題に応じて、2～7名までのユニットに区切った生活単位としています。最小のユニットは2名の配置となっており、そのお二人のために玄関、リビング、トイレ、風呂場、倉庫等が配置されています。

④ 事前のアセスメント

入居前にご家族にアセスメントシートをご記入いただき、さらに個別面談をすることで、内容を深く掘り下げ、生活面のアセスメントを丁寧に行いました。また日中活動先のジョブサイトひむろと連携し、支援ツールの共有や活用を行いました。

⑤ 日中活動先との密な連携

ジョブサイトひむろとは、ご利用者の情報共有、送迎、通院など密な連携を行っています。またホーム

の洗濯物をジョブサイトひむろ洗濯グループで行ったり、ふれいすBeのご利用者にホームの清掃をお願い



自室でニコリ

いすることで、マンパワーの活用や工賃に反映するなどの連携を行っています。

⑥ ハイテク設備

ご利用者の安全安心が保証され、快適な生活空間を生み出すため、全館バリアフリー、スプリンクラーの設置、床暖房設備などを導入しています。立地環境もよく、木目調の素敵で、尚かつハイテク設備の導入などにより、快適な暮らしが保証され、障がいがある方でも当たり前の暮らしとさらに質の高い生活を提供しています。



バリアフリーで快適

2. 支援での取り組み

① 生理的基盤を整えること

食べる、寝る、排泄する、日中は着替えて出掛ける、という基本的な生活の基盤やリズムを整えることは大切です。特に行動に課題のある方は、睡眠がとれない、拒食、過食に陥るなど、生理的基盤が崩れることが多く、そのためにも快適な生活空間や美味しい食事の提供など、環境と生活のリズムを整えることは大変重要です。

② 医療連携

障がいの重い方を支援するうえで、日常の健康管理と、医療との連携は必須です。近隣の阿武山地区には、内科、整形外科、耳鼻科、皮膚科など様々な専門科があり、通院や健康管理に大いに活用しています。また、法人の嘱託医である、まの・すぎのこ こともクリニックにも急な通院等でお世話になるなど、ご利用者の安心につながっています。歯科予防と簡単な歯科治療については、グリーン歯科さんの口腔ケアを導入しており、毎週水曜に、ほぼ全員が受診をしています。

③ 的確なアセスメントと対応の統一

専門的な知識をもった職員が的確なアセスメントを行い、支援ツールを作成し、時にはOJTを行うなどして、係わるスタッフ全員の支援の統一を図ることは大切です。

④ レジデンスなさはら研修会

昨年9月より、職員を対象に、定期的な研修会を開催しています。法人理念、権利擁護、虐待防止、感染症予防、職場のコミュニケーション、自責的に仕事すること等々、職員間のコミュニケーションの活性化や現場力を高めることを目的にしています。

⑤ 外部機関との連携

地域での当たり前の暮らしの実現には、個別の余暇支援も大きな要素です。レジデンスなさはらでは、ガイドヘルパー事業所と連携し、個別の余暇の対応や、当ホームでは難しい外出支援を行っています。以前は家族を巻き込んでこだわりを作っていたご利用者も、当法人職員とガイドヘルパーさんの役割を明確にすることで、適切な形で余暇を楽しむことにつながっている方もいます。重い障がいのある方が地域に出ることで“地域に生きる”を体現されています。

上記の環境整備や取り組みは、決して特別な支援ではなく“当たり前の暮らし”を実現するための基本的な支援です。ノーマルな暮らしがベースにあり、さらに質の高い暮



リビングもゆったりi

らしの実現が、レジデンスなさはらの目的であり、存在意義であると思っています。

3. レジデンスなさはらでの暮らしの効果測定

レジデンスなさはらが開設して10ヶ月を経過したタイミングで、ご自宅での様子と、レジデンスなさはらに移行されてからの様子を比較する意味で、一部のご家族にもご協力いただき、ご利用者の行動面を中心とした評価を行ってみました。

評価の基準については『自立支援法における行動援護などの認定基準』を使用して行いました。

主として、自閉性の障がいがあり『行動障がい』と認定されるご利用者12名の評価を行いました。

障害者自立支援法における行動援護などの認定基準

| 行動関連項目 | 0点 | 1点 | 2点 |
|-------------------------------------|---|---|--|
| 6-3-イ 本人独自の表現方法を用いた意思表示について | 1. 独自の方法によらずに意思表示ができる | 2. 時々、独自の方法でないと意思表示できないことがある | 3. 常に、独自の方法でないと意思表示ができない 4. 意思表示ができない |
| 6-4-イ 言語以外のコミュニケーション手段を用いた説明の理解について | 1. 日常生活においては、言語以外の方法（ジェスチャー、絵カード等）を用いなくても説明を理解できる | 2. 時々、言葉以外の方法（ジェスチャー、絵カード等）を用いないと説明ができないことがある | 3. 常に、言葉以外の方法を用いないと説明を理解できない 4. 言葉以外の方法を用いても説明を理解できない |
| 7-ツ 食べられないものを口に入れることが | 1. ない 2. ときどきある | 3. 週1回以上 | 4. ほぼ毎日 |
| 7-ナ 多動または行動停止が | 1. ない 2. 希にある 3. 月に1回以上 | 4. 週1回以上 | 5. ほぼ毎日 |
| 7-ニ パニックや不安定な行動が | 1. ない 2. 希にある 3. 月に1回以上 | 4. 週1回以上 | 5. ほぼ毎日 |
| 7-ヌ 自分の体を叩いたり傷つけたりするなどの行為が | 1. ない 2. 希にある 3. 月に1回以上 | 4. 週1回以上 | 5. ほぼ毎日 |
| 7-ネ 叩いたり蹴ったり器物を壊したりするなどの行為が | 1. ない 2. 希にある 3. 月に1回以上 | 4. 週1回以上 | 5. ほぼ毎日 |
| 7-ノ 他人に突然抱きついたり、断りもなく物を持ってくることが | 1. ない 2. 希にある 3. 月に1回以上 | 4. 週1回以上 | 5. ほぼ毎日 (ほぼ外出のたび) |
| 7-ハ 環境の変化により、突発的に通常と違う声を出すことが | 1. ない 2. 希にある 3. 月に1回以上 | 4. 週1回以上 | 5. ほぼ毎日 |
| 7-ヒ 突然走っていなくなるような突発的行動が | 1. ない 2. 希にある 3. 月に1回以上 | 4. 週1回以上 | 5. ほぼ毎日 |
| 7-フ 過食、反すう等の食事に関する行動が | 1. ない 2. 希にある 3. 月に1回以上 | 4. 週1回以上 | 5. ほぼ毎日 |
| てんかん発作の頻度 (医師の意見書) | 1. 年に1回以上 | 2. 月に1回以上 | 3. 週に1回以上 |

評価した結果は以下の通りです。

| | 自宅評価 | ケアホーム評価 | | 自宅評価 | ケアホーム評価 |
|---|------|---------|---|------|---------|
| A | 13点 | 12点 | G | 17点 | 17点 |
| B | 16点 | 14点 | H | 17点 | 13点 |
| C | 13点 | 16点 | I | 18点 | 13点 |
| D | 13点 | 10点 | J | 16点 | 14点 |
| E | 15点 | 9点 | K | 19点 | 15点 |
| F | 14点 | 12点 | L | 22点 | 19点 |

レジデンスなさはらに入居されたことで、10名が行動的な課題が改善され、1名が現状維持、1名がホームよりもご自宅のほうが安定されていることが分かりました。



仲良くくつろぎタイム

1名のご利用者に対する支援や環境整備に課題は残りましたが、レジデンスなさはら

での環境や支援が、概ね行動の改善につながったことが証明されています。

今後については、課題のあった1名の方と、現状維持の方に対する支援の見直しや環境整備を。改善された方についても、さらに安定して生活をしていただけるよう、ご本人に合わせた支援の統一や環境を整備していきたいと思えます。

重い障がいのあるご利用者の地域での当たり前の暮らし、さらに質の高い生活を実現できるよう、今後も取り組んでいきたいと思えます。

最後に職員で考えた レジデンスなさはら職員の心得を紹介します。

『利用者さんを“〇〇さん”と呼びます』

『利用者さんも職員も、
受け入れられる支援をします』

『誰もが住みたくなる、なさはらにします』



『利用者の排泄習慣獲得に 向けての支援』

萩の杜 生活Bグループリーダー

社会福祉士・介護福祉士 萩^{かり}谷^や厚^{あつ}志^し

萩の杜では、現在51名のご利用者が生活されています。施設内は、ご利用者のニーズや障がいの特性等にあわせてAからDグループの4つのユニットに分かれており、ユニット毎の日課で生活されています。私自身はBグループに所属しており、ご利用者がより快適に安心して暮らすことができるように、個別支援計画に基づいた、日々の生活支援をおこなっています。

生活支援をおこなううえで重要な視点の一つに「睡眠」「排泄」「食事」といった生活基盤を整えることが挙げられます。重い知的障がいを伴う自閉症のご利用者の多くは生活基盤を崩してしまうことがあり、そのことが原因で情緒が不安定な状態となり健康面も含め生活上様々な支障をきたすことがあるからです。

私が担当しているグループのご利用者は、萩の杜入所当初はトイレで適切に排尿することができていました。しかし、これまでの家庭での生活と異なった施設の集団生活の中でストレスを受ける等、何らかの原因から施設で排泄する回数が減少し、施設での排便については数年間確認することができていない状況でした。

その為、より安定した排泄習慣を身につけて頂くために、グループ支援員で協力して取り組んだ内容についてご報告させていただきます。

1. 下剤の服用

ご自宅への帰省中や萩の杜で排便できないことで過大なストレスを感じ、不調を誘発している様子が見られました。ご自宅で下剤を連続して服用する

ことで排泄することができているとご家族よりお聞きしましたので、まずは萩の杜でも排便できるように、ご家庭と同じように施設でも下剤を服用していただくようにしました。

しかし、下剤服用後も排便の確認をすることはできず、服用の数時間後には大声をあげたり、物を投げる行為等がみられるようになりました。また、服用回数や量を調節することにより回数は少ないながら施設で排便確認できるようになりましたが、トイレではなく入浴時に浴室で排便をするということが続くようになりました。

2. ※AAPEP(青年期・成人期心理教育診断評価法)の活用

では“どうすれば適切な場所で排泄することができるのか”を支援員間で会議を重ねて検討し、まずは支援の基本となるご利用者のことをより深く知ることから改めて始めることとし、支援員個々が把握している情報の共有を行いました。あわせて、AAPEP(青年期・成人期心理教育診断評価表。※以下AAPEP)を活用し、ご利用者の強みや弱みを知り、強みを活かした支援展開を図っていくこととしました。

AAPEPの結果では、このご利用者は以下の4つの強みが明確になりました。

- ①課題の意図がわかりやすく、単純な工程なものが得意。
- ②特に視覚的に理解しやすいものが得意。
- ③絵合わせ課題が得意。
- ④課題の終了を明確にし、次の活動を示すこと

でより安定して取り組むことができる。

3. ワークシステム（活動の始まりや終わり、工程を視覚的に示す）の導入

AAPEPを実施して明確になったご利用者の強みを基に、以下3つのことを踏まえて排泄活動のワークシステムの導入を図っていきました。

- ①排泄までの流れを目で見てわかりやすく伝える。
- ②1つの行動の終わりを明確にし、次の行動を示していく。
- ③トイレに行くタイミングを視覚的に伝える。

支援を押し進める中で一番大事にしたことは、各支援員が統一した支援を行うことができるようにワークシステムの使用法を書いた手順書を作成することでした。また、トイレでの一連の行動を細かな行動単位ごとに分けた課題分析表を作成し、客観的な評価を行い、一連の行動の中で何を苦手とされているのかを明確にし、ワークシステムの改訂を押し進めていきました。

そして、日々の暮らしの中での新しいことや変更点が重なるとストレスを感じて不調を招きやすいので、無理をせずスモールステップでワークシステムの導入を図っていきました。また、ワークシステムを導入していく順番を明確にしていくことで、支援員も見通しを持って支援に取り組んでいきました。

4. トイレに行く習慣を身に着ける

入浴時に排泄の習慣があった為、AAPEPから明確になった“絵合わせ課題が得意”という強みを活かして、小便器と便座の写真カードをお渡しし、それぞれ同じ絵柄の台紙があるところにカードを持っていくことを繰り返し、まずはトイレに行く習慣を身につけてもらうことから取り組みました。

トイレに行くことが習慣づいた後は、便座に座る習慣が身につくように便座に座るまでの流れを“目で見てわかる”かたちで示したうえで、便座に座った後、支援員がキッチンタイマーで座ってほしい時間を示しました。そして、タイマーが鳴ったらトイレから出てもらい、排泄活動の“終わり”を示しました。

また、最初は5秒だった便座に座ってほしい時間を徐々に伸ばしていきました。

こうした、ワークシステムの使用状況は課題分析表で評価し、必要に応じて改訂していきました。

この取り組みを通じて、トイレに行く習慣を身につけることができ、トイレでの排泄も確認されるようになりました。

5. ワークシステムの改良

課題分析表を基に、徐々に支援員の介入を減らし、ご自身で取り組めるようにワークシステムを改良していきました。その結果、自立してトイレでの排泄ができるようになりましたが、活動を示しているボードがある所に戻らずに次の活動先に向かう等、うまくワークシステムを活用できていませんでしたので、更に改訂を重ねていきました。

課題分析表を基に、幾度かの改訂を重ね作成したワークシステムです。

初めは使用方法が理解しづらい様子でした。その為、手順書を用いて支援員が統一した方法で伝えるようにしました。

回数を重ねていくと理解している様子がみられましたが、ボードに戻ることなく、次の活動に移ることもありました。



トマジッションエリア
(スケジュールを掲示・確認する場所)

「ワークシステムを使用した際の課題分析表」

| 場 面 | 1回目 | 2回目 | 5回目 | 10回目 |
|---------------------------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| ①「☆」を受け取りトイレに行く | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ②「☆」をトランジションエリアの所定の位置に貼る | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ③小便器に行く | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ④排尿する | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ⑤トランジションエリアに戻り、終わった作業の写真「小便器」を箱に入れて終了 | △トイレから出ようとする | △トイレから出ようとする | △トイレから出ようとする | △トイレから出ようとする |
| ⑥大便器に行く | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ⑦排便する | なし | なし | ○少量 | ○少量 |
| ⑧トランジションエリアに戻り、終わった作業の写真「大便器」を箱に入れて終了 | △トイレから出ようとする | △トイレから出ようとする | △トイレから出ようとする | △トイレから出ようとする |
| ⑨お風呂場に行く | ○ | ○ | ○ | ○ |

6. 排泄習慣の獲得

ワークシステムを改定していくことで、トイレで適切に排泄することができるようになりましたが、曜日によって排尿後にトイレから出ようとされることや、反対に排尿後に進んで大便器に座って排便されることがありました。そうした様子から、トイレに行くというきっかけを示すことのみでも、トイレで適切に排泄するという習慣が身についたのではと考えました。その為、ワークシステムをより単純な行動に改定し、現在では下図のトイレカードをきっかけにトイレに行って排泄することができています。



7. 総評

ワークシステムをスモールステップで導入し、課題分析表を用いて評価し、再度環境を調整していくことで、よりご利用者に適したワークシステムを作成していくことができました。その結果、最終的にはトイレで排泄することができるようになりました。

現在では、トイレカードにてトイレに行くことを伝えることで、自立してトイレで排尿できるようになり、排便についても週末にするというリズムとなりました。リズムが整うことに伴い、不調時の物を投げる行為も減少していきました。

今回の取り組みを通じて学んだことは、ご利用者個々の障がい特性を知り、それぞれの強みや弱みに合わせた支援をしていくこと。ご利用者に伝わりやすいように、視覚的、具体的に伝えていくこと。そして、何よりも冒頭で触れたとおり、食事や排泄等の生活基盤を整えることが、情緒の安定に繋がることを改めて強く実感しました。

※AAPEP：自閉症のある方が大人になったときに家庭や地域で生活してゆくために必要な機能について評価方法

イギリスでのIPWSO 第8回 国際会議に参加して



萩の杜 副施設長

介護福祉士 木 戸 貴 之

平成25年7月18日(木)～19日(金)の2日間、イギリスのケンブリッジにおいて、IPWSO(国際PWS支援組織)第8回国際会議のセッションの一つとして、各国の居住施設や日中活動で「ブラダウイリー症候群」(以下PWS)の方への支援を行っている医療・福祉サービスのケアマネジャー、医師、看護師などの専門職員を対象とした支援者会議がありました。私は日本チームの一員として参加しました。

3年に一度開催されるこの国際会議は、平成3年にオランダで開催されて以降、ノルウェー、イタリア、アメリカ、ニュージーランド、ルーマニア、台湾で開催され、今回はイギリスでの開催となりました。IPWSO加盟国として、現在100ヶ国近く加盟しています。世界各国からご本人、保護者、科学者、

専門家、支援者らが一堂に会し、PWS臨床および研究成果を発表する場であると共に、同会場で専門家と保護者が対等の立場、親しい気持ちで語り合える場所であり、世界でのPWS支援における必要な情報を得る貴重な機会となっています。

国際会議では支援者会議以外にもいくつかのセッションがあり、保護者を対象としたプログラム、PWSご本人と兄弟を対象としたプログラム、医師や科学者を対象としたプログラムに分かれています。

私は前回、平成22年5月に台湾で開催された第7回国際会議にも参加して支援者会議において、日本におけるPWSご本人への支援について講演させていただく機会をいただきました。今回のイギリスでも当時の日本チームのメンバーが再集結しての参加となりました。

【IPWSO 第8回国際会議 支援者会議プログラム】

| 日 時 | 演 題 | 詳 細 | 発表国 |
|------------------------|---------------------|--|---------------------------------------|
| 7月19日(木) 9:00～12:00 | Essentials (要点) | 遺伝学、医学的概要、運動、栄養管理、行動管理などの項目ごとに、IPWSOでまとめたガイドラインに基づいて発表 | デンマーク チリ オーストラリア ドイツ ベルギー |
| 14:00～17:00 | Living (生活) | グループホームにおける防災管理についての報告 グループホームに居住している3名の利用者が、支援員と共に発表 | イスラエル イギリス |
| 7月20日(金) 9:00～12:00 | Training (教育・訓練) | コミュニケーション、感覚統合などについて、ガイドラインに基づいて発表 | アメリカ ドイツ イスラエル |
| 14:00～15:30 | Working (働くこと) | PWSご本人が実際に就労している様子の映像を紹介 | アメリカ ドイツ イギリス |

【参加国】

イギリス・スウェーデン・ノルウェー・フィンランド・デンマーク・スイス・

オーストラリア・ロシア・ドイツ・ルーマニア・ニュージーランド・イスラエル・チリ・オーストリア・

イタリア・フランス・ベルギー・オランダ・アメリカ・アイルランド・スペイン・日本
(22ヶ国/80名が参加)

「プラダーウィリー症候群」(PWS)という障がい名を聞き慣れない方も多いと思いますので、ここで少し説明をさせていただきます。「プラダーウィリー症候群」(PWS)は染色体(15番染色体)異常を病因とし、およそ1万人から1.5万人に1人の発症率と報告されています。PWSは、それぞれの発達段階で特有かつ多彩な身体的症状を呈するとともに、多くの場合に知的障がいを伴います。満腹中枢の異常から過食傾向が強く、肥満および関連する二次障がいのリスクも高くなります。

行動面では、学齢期以降にこだわりや執着が強くなり、頑固で協調性が乏しくなりがちで、対人関係のトラブルやパニック、自傷行為、放浪癖などの行動上の課題が目立ち始めます。青年期以降に強度の行動障がいや現れ始めることもあり、成人期にうつ病等の精神障がいを発症する場合もあるとされています。年齢によっての状態像が変わるため、行動マネジメント方法の確立が大きな課題の一つとされており、そのための医療、福祉、教育等の連携が求められている症候群です。

イギリス研修で当初予定していた、実際のPWS専門のグループホームへの見学は諸事情により実施できませんでしたが、イギリスでPWS専門のグループホームで働いている職員とお話する機会をいただきました。そのため今回の報告では、支援者会議での報告も踏まえながらイギリスのグループホームでの暮らしと日本の現状を比較し、日本での今後の生活支援における方向性を検証したいと思います。



グレットンホームズ 外観

まずイギリスの状況ですが、イギリスではPWS専門のグループホームが国内に14施設あります。今回の国際会議のスポンサーもされたグレットンホームズでは、PWS専門のグループホームを9施設運営しており、80名程度のPWS利用者を170名程の支援者が支援しています。支援

者は、PWSに対する専門のトレーニングを受け、専門職員として支援を提供しています。また専門職員として、心理学者や医師、理学療法士なども従事しています。

イギリスでは成人期PWSの85%の方がグループホームで生活されており、残り15%の方が在宅で生活されています。その85%の中には、全員が専門のグループホームに入っている訳では無く、他の障がいのあるご利用者と一緒に生活されている方もいらっしゃいますが、主流は専門のグループホームであるとの事でした。

日本では現在PWS専門のグループホームは無く、施設入所や他の障がいのある方と一緒にグループホーム・ケアホームなどで生活されています。海外では、PWS専門のグループホームが多く見られるため、日本の状況を遅れていると捉える方もいます。その背景としては、福祉領域だけではなく医療機関や教育関係でも、まだまだPWSという障がい知られていないという事実があり、施設によっては、PWSというだけで利用を拒否されたという話も聞くことがあります。そうしたご家族や関係者の経験が、日本では支援が遅れているとの評価につながっているのだろうと感じると共に、萩の杜が事務局となって平成16年から活動しているPWS支援者ネットワークでの活動を通して、もっと正確な情報を広く発信しなければならないと痛感しています。

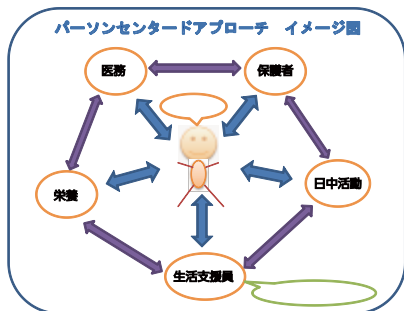
話を国際会議に戻しますが、支援者会議の報告の中で、イギリスの専門グループホーム(グレットンホームズ)の職員とPWSご本人の発表がありました。その発表では、支援で大切にしているキーワー



PWSご本人の発表

ドとして、「パーソン・センタード・プランニング」を言われていました。つまりご利用者を中心に支援を展開するという事で、これを実現するために「パーソン・センタード・ミーティング」を開催し、アクションプランを作成しているといった報告がありました。その「成功へのカギ」は、「The person is always at the centre.」とのことで、常にご利用者が主人公であり続け、ご利用者の夢や実現したい生活をサポートしていくとの事でした。

私たち萩の杜でも、「パーソン・センタード・アプローチ」をキーワードに支援しています。施設サービス



にご利用者を合わせるのではなく、ご利用者のニーズを明らかにし、ご利用者に合わせたサービスを作り上げていく姿勢を、萩の杜のコアバリューとして大切にしてきました。そのためにもそれぞれのご利用者の将来像を見据え、一步一步着実に進んでいく支援を心がけています。

今回イギリスでの発表を聞いて、グループホームであっても、施設入所であっても、その方を中心に据えた支援を展開することが、何よりも大切であることを再認識しました。つまり、私達がどのような暮ら

しの間を作るかではなく、ご利用者がどのような生活を望んでいるか、そのニーズを満たすために必要な環境を作り出していくことが大切です。

ただ、PWS専門のグループホームが無いのは、ご利用者に選んでいただく選択の幅を狭くさせてしまっていることになります。そのため、日本でもやはりPWS専門のグループホームを設立することは大切であり、ご利用者が望む様々な暮らしの実現を目指していきたいと思えます。



IPWSO 役員との記念写真

皆さんにお伝えしたいことはまだまだありますが、今回は特に居住にスポットを当てて書かせていただきました。ご利用者を中心に据えた支援を今後も継続して取り組んでいくことで、今回の会議で学んだことを活かしていきたいと思えます。

| 掲載ページ | 内 容 |
|---------|---|
| 法人のご案内 | 平成24年度要約貸借対照表・要約資金収支計算書・要約事業活動収支計算書・財産目録掲載 |
| | 平成24年度事業報告書・監事監査報告書 掲載 |
| 各施設のご案内 | an 新聞・will 新聞・Link 新聞 掲載 |
| 松上利男の一言 | 第60回 現場力を高める |
| | 第61回 公益事業におけるSustainability (持続可能性) を考える |
| お知らせ | NHK 総合テレビ『あさイチ』 CafeBeの「はにたんカプチーノ」が紹介 |
| | ご家族向け公開セミナー「発達障がい」ってなあに? ～気づきが支援のスタート～ ご案内 |
| | NHK Eテレ『バリバラ』にぶれいす Beご利用者の川島正毅さんが出演 |
| | 『大阪府気づき支援人材育成事業 保育士・幼稚園教諭合同講座』開催のお知らせ |
| | 全国自閉症者施設協議会大阪大会 開催のお知らせ |
| | 「ジョブジョイントおおさか たかつきランチ」開所 |
| プロジェクト | 平成24年度セーフティネット支援対策等事業 『社会的就労支援事業のあり方に関する調査・研究』 |
| 機関誌 | 53号掲載 |
| リンク集 | 赤い羽根おおさか(大阪府共同募金会) 追加 |
| よどのコロック | イベント販売&お知らせ |
| Café Be | ランチメニュー更新 |
| | Café Be ミュージック・ディ情報更新 |

大阪府障がい児者施設サービス改善支援員派遣事業 報告

萩の杜 施設長 勝部 真一郎

大阪府では、府内施設内での虐待や不適切な事案が多数発生したことを背景に“施設内虐待ゼロ”をめざし、第三者が対話・交流型で施設を訪問する“サービス改善支援員派遣事業”を平成23年度から3ヵ年事業として開始しました。こうした取り組みは都道府県レベルでは全国で初となり、施設の理解や相互協力のもと試行錯誤しながら取り組んでいる状況です。萩の杜もその事業の対象となっておりますので、その進捗についてご報告いたします。

訪問結果として大要以下の様な評価を年度毎にいただいております。平成24年度から法人全体で積極的に取り組んでいる“虐待防止”に関する項目が高い評価を得ております。

【平成23年度訪問結果】(全施設の集計結果と比較)

- 高い項目:利用者中心支援、職場環境、職員研修、外部のチェック
- 低い項目:マニュアル・規程、苦情・虐待防止体制整備

【平成24年度訪問結果】(平成23年度結果と比較)

- 高い項目:利用者中心支援、苦情・虐待事案への対応等の体制整備
- 低い項目:マニュアル・規程の整備

今年度は、事業の最終年度としてまとめにつながるように各施設において取り組みテーマを絞り実施することとなっています。萩の杜では、“事故・苦情対応”をテーマとし、現在取り組んでいるリスクマネジメント活動に活かしたいと考えています。

掲示板コーナー

(平成25年6月から平成25年8月まで)

法人本部総務部掲示板

| 6月 | 行 事 |
|--------|---------------------------------|
| 9日 | 平成26年度採用試験 (高槻現代劇場 306号室) |
| 10日 | 経営会議 |
| 12日 | 全国自閉症者施設協議会会議 (高槻現代劇場 401号室) |
| 13~14日 | 平成26年度採用一次面接 (法人本部会議室) |
| 14~28日 | 運営会議 |
| 25日 | 総務会議 |
| 26日 | 平成26年度採用二次面接 (法人本部会議室) |

| 7月 | 行 事 |
|-----|--|
| 8日 | 経営会議 |
| 12日 | 運営会議 |
| 20日 | 平成25年度第2回法人研修 (高槻現代劇場 305号室) ①大阪ロータアクトクラブ様 ガレット販売促進活動ご報告 ②厚労省の研究事業報告 ③実践発表医療連携について ④グループディスカッション&全体共有 (法人のコアバリューについて) |
| 24日 | 総務会議 |

| 8月 | 行 事 |
|-------|---|
| 5日 | 経営会議 |
| 9・23日 | 運営会議 |
| 26日 | 自閉症啓発デー会議 (法人本部会議室) 北摂杉の子会後援会臨時役員会 (法人本部会議室) |
| 28日 | 総務会議 |
| 31日 | 平成26年度採用説明会 (高槻商工会議所) |

(河辺 記)



法人研修 大阪ロータアクト様へ感謝状贈呈



大阪ロータアクト様の活動報告

萩の杜 掲示板

萩の杜設備保全

前回の機関紙でお伝えしていたベランダ改修も無事に終わり、ベランダに開所当時の色合いが戻ってきました。植木の剪定も定期的を実施して、とてもきれいな外観になっています。ご協力頂いている関係者の皆様に感謝の思いで一杯です!



剪定作業の様子です。
植木がキレイに整えられています。

萩の杜懇親会

萩の杜、ふれっとなにて、ご利用者の保護者のみなさまと職員との親睦を深めるために懇親会を開催しました。各グループとふれっとなに別れて順次開催しています。

保護者のみなさまより、ご利用者の幼少期の話、萩の杜の設立時の話、趣味の話などなど、いろいろな話を聞くことができました。

ゆっくり話し合うなかで保護者のみなさまと職員との親睦も図れたと思います。

参加していただいたみなさま、ありがとうございました! 今後も順次開催してまいりますので、ご参加お待ちしております。



スライドショーを使って、ご利用者の日々の様子も紹介しました。

(山根 記)

ジョブサイトひむろ掲示板

(6~8月のレクリエーション・行事)

6~8月の外出時や作業風景の写真を掲載しています。

今期は各グループのレクリエーションに加え、祝日を利用した季節感あふれるイベントも開催され、ひむろのご利用者の方々も多数参加されました。

❖ そうぞう1レクリエーション ❖

7月19日 映画鑑賞



● 七夕笹飾り ●

7月5日



◎ プリンアラモード作り ◎

7月15日



◆ 慰労会 (かき氷作り) ◆

8月13日



(湯岡 記)

大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか

| 6月 | 行 事 |
|------------|--|
| 5日 | 大阪府障がい者自立支援協議会 発達障がい児者支援体制整備検討部会 子どもワーキンググループ 問診表検討ワーキングチーム 第1回会議 |
| 12日 | 第1回 大阪府障がい者自立支援協議会 発達障がい児者支援体制整備検討部会 |
| 13日 | アクトおおさか連絡協議会（以下、連絡協議会） 参画依頼 （自閉症児支援センターWave） |
| 13～ 15日 | 発達障害者支援センター全国連絡協議会 （秩父学園） |
| 17日 | 大阪府成人期発達障がい者地域支援体制サポート事業（以下、サポート事業） 訪問相談（高槻：あんだんて） 連絡協議会 参画依頼（大阪障害者職業センター） |
| 18日 | 連絡協議会 参画依頼 （職業カウンセリングセンター、JOB プラザ OSAKA、大阪府若者サポートステーション） |
| 19日 | 連絡協議会 参画依頼 （こども発達支援センターSun） |
| 20日 | 連絡協議会 参画依頼 （こども発達支援センター青空） |
| 21日 | 連絡協議会 参画依頼 （自閉症療育センターwill、Link） 大阪府発達障害団体ネットワーク |
| 24日 | サポート事業 訪問相談（豊中：る～ぶ） |
| 26日 | 河内長野市自立支援協議会 連絡協議会 参画依頼（大阪府こころの健康総合 センター、大阪府自立相談支援センター） |
| 27日 | 枚方市自立支援協議会 |

| 7月 | 行 事 |
|-----|--|
| 1日 | 連絡協議会 参画依頼（大阪府教育センター） （発達障がい支援センターPAL） |
| 6日 | グループミーティング |
| 12日 | アクトおおさか主催研修 基礎講座 「高機能広汎性発達障がいの理解と支援 ～青年・成人期を中心に～」 講師：平山 照美 医師（大阪府こころの健康総合 センター 117名参加） |
| 18日 | 第1回 大阪府障がい者自立支援協議会 発達障がい児者支援体制整備検討部会 子どもワーキンググループ |
| 19日 | 成人期発達障がい者地域支援ネットワーク会 連絡協議会 参画依頼 （大阪府教育委員会支援教育課） |
| 24日 | 第1回 大阪府障がい者自立支援協議会 発達障がい児者支援体制整備検討部会 成人ワーキンググループ |
| 25日 | サポート事業 実地研修（高槻：あんだんて） |
| 26日 | 第1回 アクトおおさか連絡協議会 |
| 30日 | コーディネーター派遣事業 打ち合わせ |

| 8月 | 行 事 |
|-----|--|
| 2日 | アクトおおさか主催研修 応用講座 第1回 定員20名で案内したところ申込数58名であっ たため、30名に増員して実施 |
| 8日 | ペアレントトレーニング拠点連絡会 サポート事業 訪問 事例検討会（豊中：る～ぶ） |
| 20日 | 第2回 大阪府障がい者自立支援協議会 発達障がい児者支援体制整備検討部会 |
| 21日 | ペアレントトレーニング研修会 |
| 23日 | 府内3センター情報交換会（エルムおおさか） |
| 26日 | 発達障がい者支援コーディネーター派遣事業 打ち合わせ |

（岩城 記）



連絡協議会

研修相談支援室・PASSO 掲示板

| 6月 | 行 | 事 |
|-------|--|---|
| 1日 | 平成25年度本人支援コース12名継続、新規1名決定（合計13名） 平成25年度個別評価コース1名追加決定（合計10名） | |
| 7日 | 高槻市教育センター自閉症連続講座 第2回（106名参加） 高槻市 ペアサポート巡回相談1回目 小学校 | |
| 8・22日 | WAISⅢ研修（アクトおおさか） | |
| 10日 | 泉大津市巡回相談1回目 小学校 | |
| 11日 | 和泉市特別支援教育連続講座 第2回（約40名参加） | |
| 14日 | 摂津市教育委員会巡回相談2回目 小学校 | |
| 17日 | 和泉市巡回相談2回目 小学校 | |
| 21日 | 高槻市ペアサポート巡回相談2回目 小学校 摂津市教育委員会連続基礎講座 第1回（約30名参加） | |
| 24日 | 和泉市巡回相談3回目 幼稚園 | |
| 25日 | 和泉市教育委員会連続講座 第3回（約40名参加） | |
| 28日 | 高槻市ペアサポート巡回相談 3回目 小学校 高槻市教育委員会自閉症連続講座 第3回（106名参加） | |

| 7月 | 行 | 事 |
|-----|--|---|
| 1日 | 思春期連続講座第2回目（淀川区民センター）（8名参加） 泉大津市教育委員会基礎講座（約30名参加） | |
| 5日 | 此花区社会福祉協議会研修会 講師派遣（50名参加） 摂津市巡回相談3回目 小学校 | |
| 12日 | 摂津市教育委員会連続基礎講座 第2回（30名参加） 家族グループ第2回目（8名参加） | |

| 8月 | 行 | 事 |
|--------|--|---|
| 5日 | 和泉市教育委員会夏季テーマ別研修 小学校教諭対象（12名参加） | |
| 6日 | 和泉市教育委員会夏季テーマ別研修 幼稚園教諭対象（10名参加） | |
| 19日 | 泉大津市教育委員会夏季テーマ別研修（9名参加） 摂津市教育委員会夏季テーマ別研修（9名参加） | |
| 22・23日 | 高槻市教育センター教員トレーニングセミナー（20名参加） | |
| 25日 | 四條畷市発達障がい啓発研修会 講師派遣（70名参加） | |
| 26日 | 和泉市教育委員会連続講座 第4回（約40名参加） 島本町特別支援教育研究会スーパーバイズ研修（30名参加） | |

（新澤・大澤 記）

研修相談支援室では、毎年、教職員実技研修（トレーニングセミナー）やテーマ別研修（支援学級の模擬授業、教材作り、当番活動の自立支援など）を学校を会場にして実施しています。写真は実技研修の一場面（洗濯物干し／畳み）です。



発達障がい児療育支援部掲示板

○児童デイサービスセンター an

| 6月 | 行 | 事 |
|--------|---------------|---|
| 7日 | 保護者研修入門A | |
| 10日~ | 前期療育開始 | |
| 14日 | 保護者研修入門B | |
| 21日 | 保護者研修実践 | |
| 24~28日 | 前期個別の支援計画素案作成 | |

| 7月 | 行 | 事 |
|-------|-----------------|---|
| 1~19日 | 前期個別の支援計画作成面談開始 | |
| 5日 | 保護者研修入門A | |
| 12日 | 保護者研修実践 | |
| 19日 | 保護者研修入門B | |
| 20日 | 法人研修 | |

| 8月 | 行 | 事 |
|--------|------------|---|
| 2日 | スタッフミーティング | |
| 12~16日 | 夏季休暇 | |
| 30日 | スタッフミーティング | |

○自閉症療育センター will

| 6月 | 行 | 事 |
|--------|--------------------|---|
| 7日 | 実践交流会 | |
| 15日 | 療育事業説明会 | |
| 17~27日 | 個別支援計画面談 | |
| 21日 | 保護者研修入門A | |
| 28日 | 保護者研修入門B スタッフ会議 | |

| 7月 | 行 | 事 |
|-----|----------|---|
| 19日 | 保護者研修入門A | |
| 20日 | 法人研修 | |
| 26日 | 保護者研修入門B | |
| 30日 | ケース会議 | |

| 8月 | 行 | 事 |
|--------|---------|---|
| 12~16日 | 夏季休暇 | |
| 24日 | 療育事業説明会 | |
| 30日 | スタッフ会議 | |

○自閉症療育センター Link

| 6月 | 行 | 事 |
|--------|-------------|---|
| 7日 | 実践交流会 | |
| 11日 | ケース会議 | |
| 17~27日 | 前期 個別支援計画面談 | |
| 21日 | 保護者研修入門A | |
| 28日 | 保護者研修入門B | |

| 7月 | 行 | 事 |
|-----|----------|---|
| 5日 | 実践交流会 | |
| 9日 | スタッフ会議 | |
| 19日 | 保護者研修入門A | |
| 20日 | 法人研修 | |
| 26日 | 保護者研修入門B | |

| 8月 | 行 | 事 |
|--------|--------|---|
| 6日 | ケース会議 | |
| 12~16日 | 夏季休暇 | |
| 24日 | 事業所説明会 | |
| 30日 | 火災避難訓練 | |

(谷岡 記)

ジョブサイトよど掲示板

| 6月 | 行 | 事 |
|--------|-------------------------------|---|
| 7日 | コロッケ販売 (大阪社会福祉指導センター前) | |
| 11・25日 | エアロピクス | |
| 12日 | コロッケ販売 (ニッセイビル) | |
| 13日 | コロッケ販売 (トレードピア淀屋橋) | |
| 17~19日 | 5Fフロアレクリエーション (京都水族館) | |
| 22日 | 土曜クラブ | |
| 24日 | 4Fフロアレクリエーション (バイキング・ヤクルト工場) | |
| 28日 | 3Fフロアレクリエーション (京都国際まんがミュージアム) | |

| 7月 | 行 | 事 |
|-------|--|---|
| 4日 | コロッケ販売 (トレードピア淀屋橋) Jブランチフロアレクリエーション (グランフロント大阪) | |
| 9・23日 | エアロピクス | |
| 10日 | コロッケ販売 (ニッセイビル) | |
| 11日 | コロッケ販売 (健志クリニック) | |
| 12日 | コロッケ販売 (大阪社会福祉指導センター前) | |
| 24日 | 健康診断 | |
| 27日 | 土曜クラブ | |

| 8月 | 行 | 事 |
|-------|------------------------|---|
| 6・27日 | エアロピクス | |
| 8日 | コロッケ販売 (トレードピア淀屋橋) | |
| 9日 | コロッケ販売 (大阪社会福祉指導センター前) | |

(田端 記)

❖ フロアレクリエーション ❖



京都水族館



バイキング



国際漫画ミュージアム



グランフロント大阪

ふれいす Be 掲示板

| 6月 | 行 | 事 |
|-----|---|--------------------------------------|
| 3日 | | ご利用者の健康診断 |
| 6日 | | NHK「あさイチ」でCafeBeの「はにたんカプチーノ」が紹介 |
| 8日 | | CafeBeでカフェコンサートを開催（出演：上原大地さま 来場者61名） |
| 17日 | | 内部研修「コミュニケーションについて」（参加職員37名） |
| 18日 | | 短期入所事業にて内部研修「問題行動について」（参加職員12名） |
| 21日 | | NHK「バリバラ」にふれいす Beのご利用者が出演 |
| 29日 | | 「ビジネスマッチングin高槻」（アクトアモーレにて）でガレット販売 |

見学：4件33名

| 7月 | 行 | 事 |
|--------|---|---|
| 2日 | | 避難訓練を実施 |
| 6日 | | 土曜開所日 各チームでプログラムを実施 |
| 13日 | | CafeBeにて「私の町の保健室 元氣堂」様との連携企画として、アロマカフェを開催（9月までの第2・4土曜日開催） |
| 14日 | | カトリック高槻教会でガレット販売 |
| 22・29日 | | ご利用者の内科検診 |
| 26日 | | 龍谷大学短期大学部より実習生1名受入（～8月8日まで） |

見学：2件21名

| 8月 | 行 | 事 |
|--------|---|----------------------------------|
| 3日 | | 土曜開所日 各チームでプログラムを実施 |
| 5日 | | 阿武野高校より実習生1名受入（～8月9日まで） |
| 6日 | | 高槻支援学校より体験実習生徒を5名受入（～29日まで不定期実施） |
| 11日 | | カトリック高槻教会でガレット販売 |
| 14～18日 | | 夏期休暇 |
| 30日 | | 龍谷大学短期大学部より実習生1名受入（～9月12日まで） |

見学：5件28名
(下 記)

♪ 6月 カフェコンサート ♪



◇ 7月 土曜開所 ◇



◇ 8月 土曜開所日 ◇



❖ はにたんカプチーノ ❖



ジョブジョイントおおさか掲示板

| 6月 | 行 | 事 |
|-----|------------------------|------------|
| 8日 | 家族ミーティング／JJOBの会（就職者） | |
| 12日 | 見学会 | |
| 22日 | 土曜開所日／土曜クラブ | |
| 26日 | 見学会 | |
| 29日 | 発達障害学生のためのインターン夏のプログラム | ガイダンス（説明会） |

| 7月 | 行 | 事 |
|--------|------------------------------|---|
| 10日 | 前期健康診断 | |
| 8～19日 | 第2四半期個別支援計画懇談 | |
| 13・14日 | 発達障害学生のためのインターン夏のプログラム | |
| 20・21日 | 事前プログラム（個別面談、ビジネスマナー講座、作業体験） | |
| 24日 | 会社見学会／株式会社パソナハートフル | |
| 31日 | 見学会 | |

| 8月 | 行 | 事 |
|--------|------------------------|---------|
| 9日 | 発達障害学生のためのインターン夏のプログラム | 合同ガイダンス |
| 10日 | 土曜開所日／土曜クラブ | |
| 11～18日 | 夏期休業 | |
| 19日～ | 発達障害学生のためのインターン夏のプログラム | インターン開始 |
| 21日 | 見学会 | |

（星明 記）



発達障害学生のインターンのガイダンス（説明会）の様子



発達障害学生のインターン前の作業体験の様子



土曜クラブ（ダンスクラブ）の様子

萩の杜家族会掲示板

| 6月 | 行 | 事 |
|-----|--|---|
| 11日 | イオンのイエローレシートキャンペーンに参加 | |
| 23日 | カトリック高槻教会にて花の販売 | |
| 24日 | 倉庫整理（資金グループ） | |
| 27日 | サークル萩（手作り品の作成と情報交換会） | |
| 7月 | 行 | 事 |
| 1日 | 安全対策委員会 | |
| 11日 | イオンのイエローレシートキャンペーンに参加 | |
| 21日 | 定例会 ・ケアホーム・グループホームアンケートについて（平野部長） ・施設からの報告（勝部施設長） ・安全対策委員会報告（木戸副施設長） ・隔週帰省および送迎バスアンケート結果報告 ・資金・広報・会計・事務局各グループからの報告 カトリック高槻教会にて花の販売 | |
| 24日 | 機関紙54号発送協力（広報グループ） 5家族会会長懇談会 | |
| 25日 | サークル萩（手作り品の作成と情報交換会） | |
| 8月 | 行 | 事 |
| 22日 | サークル萩（手作り品の作成と情報交換会） | |
| 26日 | 安全対策委員会 | |

（植松 記）

ジョブサイトひむろ家族会掲示板

| 6月 | 行 | 事 |
|-----|--|---|
| 11日 | 杉の子会ゴルフコンペ（高槻カントリー倶楽部 有志11名参加） | |
| 14日 | 第1回役員会（法人本部） 議題1 役員会、定例会日程変更について 議題2 準会員取扱いについて 議題3 ケアホームアンケートについて 議題4 三島の郷見学会について 議題5 なさはら報告 | |
| 7月 | 行 | 事 |
| 23日 | 第1回定例会（現代劇場207号 会員41名出席） 議題1 法人の現状について 中村理事長より 議題2 年間計画の変更について 議題3 ケアホームアンケートについて 平野部長より 議題4 三島の郷見学について 議題5 後援会報告 棚山会長より 議題6 施設長報告 森田施設長より 議題7 その他 松上常務理事より制度変更の説明、訃報、会計より家族会費納付 確認書配布、質疑応答 | |
| 24日 | 第2回5家族会会長懇談会（法人本部 東なさはら家族会会長出席） 広報委員会 機関誌54号発送 | |
| 8月 | 行 | 事 |
| 21日 | 第2回役員会（カフェBe） 議題1 三島の郷見学会について 議題2 年間計画の変更について 議題3 ひむろ移設について 議題4 ふれあいバザーについて | |

（宮階 記）

三島の郷見学会

日 時 平成25年9月26日（木曜日）13時30分～15時

参加者 ジョブサイトひむろ家族会有志19名

かねてより企画していた三島の郷見学会を行いました。

当日ふれいすBeに集合し5台の車に分乗、台風の影響で通行止めを懸念しながら三島の郷に向会、無事到着。

三島の郷では副施設長の梶田さんから各個室・食堂・診療室・美容室・浴場・作業場など細部にわたり説明をお聞きしながらの見学でした。

見学後の質疑応答で

建設費用（総額、補助金、法人負担、家族の負担等）

- ・利用者数
- ・職員数
- ・障害程度区分
- ・利用者の構成
- ・医療連携
- ・後見人の有無
- ・年齢の制限

等の質問に対し、一つ一つ懇切丁寧にお答えを頂き、全員そろって記念写真を撮って終了しました。

参加された皆さんからは、土地の広さと補助金に恵まれたことに驚きましたとの感想がありました。

今回の見学会は、新しく計画されているジョブサイトひむろの移設の時に参考にしたいと見学者一同熱心にお話を伺い、なさはらのアットホームで温もりのある支援を再認識することもでき、三島の郷様のご協力によりとても有意義なものになりました。



ジョブサイトよど&ジョブジョイントおおさか家族会掲示板

| 6月 | 行 | 事 |
|-----|----------------------|----------|
| 2日 | オアシス総会にて | 100円喫茶実施 |
| 3日 | 6月役員会開催 | 100円喫茶実施 |
| 7日 | オアシス役員会にて | 100円喫茶実施 |
| 12日 | オアシスHP勉強会にて | 100円喫茶実施 |
| 13日 | 十三市参加 | |
| 14日 | オアシス座談会にて | 100円喫茶実施 |
| 16日 | 大阪自閉症協会総会にて | 100円喫茶実施 |
| 21日 | 大阪府発達障がい団体ネットワーク会議参加 | (役員2名) |
| 27日 | オアシスサロンにて | 100円喫茶実施 |

| 7月 | 行 | 事 |
|-----|-----------------------|----------|
| 1日 | 7月役員会開催 | 100円喫茶実施 |
| 5日 | 研修相談支援室PASSOの公開勉強会に参加 | (会長、役員) |
| 11日 | オアシス役員会にて | 100円喫茶実施 |
| 12日 | オアシスサロンにて | 100円喫茶実施 |
| 13日 | 十三市参加 | |
| 15日 | 大阪自閉症協会つどいの会にて | 100円喫茶実施 |
| 29日 | 大阪府障がい者社会推進センター研修会参加 | (会長、役員) |

| 8月 | 行 | 事 |
|-----|------------|--------------------|
| 2日 | オアシス役員会にて | 100円喫茶実施 |
| 5日 | 8月役員会開催 | 100円喫茶実施 |
| 26日 | 後援会臨時役員会参加 | (会長) |
| 28日 | 理事長と語ろう会 | 子がんこ十三東店にて実施(7名参加) |

(福田 記)

ぶれいす Be 家族会掲示板

| 6月 | 行 | 事 |
|-----|---------------------------------|---|
| 6日 | コーラスグループ「コールつばさ」練習会（今城塚公民館） | 三役会（ぶれいす Be 会議室）（出席者：本城 齊藤 辰己 和田 厚東） 役員会の議事打ち合わせおよび資料整理。第4期役員会の運営にも慣れてきたので、三役会の定例的な開催は今回で取りやめることにする。 |
| 10日 | 第1回参観&ランチ（担当：林 宮本 和田） | 感想 「少数で和やかに施設内を見学、暑い中黙々と働いているご利用者の姿を見て、その成長ぶりに感心。ランチでは、普段話せないこと、将来の不安等ざっくばらんに話し合うことが出来て、うれしい時間を過ごせました」 |
| 13日 | 役員会（ぶれいす Be 会議室）（出席者：13名・施設長含む） | 審議事項 <ul style="list-style-type: none"> 参観&ランチの進め方（実施日毎に担当役員を決め、進行報告等を分担） 8月31日開催予定の父親の会に関して大枠の決定（自動車に分乗し「レジデンスなさはら」見学。「飲み会」は12月の忘年会で行う） 「グループホーム・ケアホーム」アンケートのとりまとめ（意向調査の第一回目ということを考慮して結果のみを報告し、コメントは差し控える） 「衛藤せいいち後援会」からの依頼（役員会の範囲内で対応する） 「家族会案内文書」の作成（担当役員は辰巳さんをお願いし、衆知を集めるために継続審議とする） 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> 「三島の郷」見学報告（施設が新しくなり見違えるようになった。直接行ってお話をうかがうと細かな点までわかり参考になる） 施設見学について（情報を収集し見学先を絞る） 「地域に生きる」掲示板原稿の確認 下施設長報告 <ul style="list-style-type: none"> 障害程度区分認定に関し留意すべき点（障害程度区分が軽度に変更される事例が続く）Tシャツの配布、職員の異動および結婚、大阪ローターアクトクラブのご尽力の結果「天神の湯」でガレットの販売開始 |
| 17日 | 新旧役員歓送迎会（岡本町のいっけんめ） | |

| 7月 | 行 | 事 |
|-----|---|--|
| 4日 | コーラスグループ「コールつばさ」練習会（今城塚公民館） | |
| 11日 | 役員会（ぶれいす Be 会議室）（出席者：13名・施設長及び平野地域生活支援部部長を含む） | 審議事項 <ul style="list-style-type: none"> 法人が実施予定している「ケアホーム・グループホームに関するアンケート調査」について（その主旨・実施細目等について平野部長の説明を受けた後、家族会としての取り扱いならびに要望について議論。見学会を企画するために役員会としていくつかの施設を下見する）（まずは生活支援センター「あゆ」を見学する） 「Be どうし」原稿（和田さんが草稿を作る）。定例会に向けての準備スケジュールの確定 参観&ランチの実施準備（次回は7月17日）「父親の会」の案内文作成[継続] 「家族会の案内チラシ」の作成[継続]（定例会までに完成し、配布する） |
| 17日 | 第2回参観&ランチ（担当：横山 川上／参加者8名） | 感想 「施設全体が、時間的にも、スペース的にもゆったりとした感じである」 「食事は、それをきっかけに、通所が嫌になる場合もあり、非常に大切だ」 「保護者の食事に関する要望に、早速に対応して頂けた」「知的と重身の方の交流の場として大切なイベントと感じた」「父親の参加もあり、意見も活潑に出て、あっという間に時間が過ぎた」 |
| 22日 | コーラスグループ「コールつばさ」練習（今城塚公民館） | |
| 23日 | 北摂杉の子会家族会会長懇談会（出席者：本城） | |

| 8月 | 行 | 事 |
|-----|--------------------------------|--|
| 1日 | コーラスグループ「コールつばさ」 | 練習（今城塚公民館） |
| 2日 | 生活支援センター「あゆ」の見学（役員のみ9名参加） | センター長の大森様から詳細な資料に即した行き届いたお話を伺った後、施設内を見学させて頂く |
| 8日 | 役員会（ぶれいすBe会議室）（出席者：13名・施設長を含む） | 審議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・参観&ランチの実施（7月17日分の報告。次回は9月13日） ・定例会に向けての準備作業（案内文書の文案） ・下半期の基本計画の確認（見学会は「あゆ」を第一候補とする） ・「父親の会」参加申し込み状況の報告 |
| 22日 | コーラスグループ「コールつばさ」 | 練習（今城塚公民館） |
| 26日 | 北摂杉の子会後援会臨時役員会 | （出席者：本城） |
| 31日 | 父親の会（担当役員：齊藤／参加者：父親12名・下施設長） | スケジュール <ul style="list-style-type: none"> ・ぶれいすBeに集合し、自動車に分乗して「レジデンスなさはら」へ ・平野地域生活支援部 部長の資料を用いた懇切な説明をうかがい、施設内を約1時間見学 ・その後ぶれいすBeに戻り懇談 感想 「利用者の個人的ニーズに合わせた建物の設計、行き届いた管理運営の仕方など、びっくりすることが多かった」「自分自身のまじかに迫った定年等を思うと、早めにこうした施設が建ってほしい」「あらたに建設するには、どのくらい経費が掛かるのか、具体的な数字を知りたい」等々、「百聞は一見にしかず」ということが実感される半日であった。 |

（厚東 記）

自閉症スペクトラム児・者を支援する親の会 オアシス掲示板

| 6月 | 行 | 事 |
|-----|----------------------------|---|
| 2日 | オアシス総会 | |
| 7日 | 6月度役員会 | |
| 14日 | 新澤先生を囲んでの座談会 | |
| 21日 | 大阪府発達障害団体ネットワーク会(会長、副会長出席) | |
| 27日 | オアシスサロン | |

| 8月 | 行 | 事 |
|-----|---------|---|
| 2日 | 8月度役員会 | |
| 17日 | 調理実習体験 | |
| 23日 | オアシスサロン | |

（村井 記）

| 7月 | 行 | 事 |
|-----|--------------------|---|
| 3日 | ホットメールなにわ会合（副会長出席） | |
| 11日 | 7月度役員会 | |
| 12日 | オアシスサロン | |
| 14日 | 就労体験 | |



北摂杉の子会 後援会掲示板

本会の活動に対して萩の杜、ジョブサイトひむろ、ジョブサイトよど&ジョブジョイントおおさか家族会、ぷれいすBeの家族会の皆様を含めて多くの方々にご支援をいただき、まことにありがとうございます。今後ともより一層のご協力をよろしくお願い申し上げます。

<近況報告>

6月 個人会員：521名、団体会員：20団体
合計：541名／団体 寄付：2件
7月 個人会員：521名、団体会員：20団体
合計：541名／団体 寄付：3件
8月 個人会員：522名、団体会員：20団体
合計：542名／団体寄付：3件

(8月末までの新規会員)

個人会員：32名、団体会員：4団体

合計：36名／団体

<報告事項>

- 1) 今年度の8月末までに18件、254,000円の寄付、808,000円の会費を頂きました。ご協力ありがとうございます。
- 2) 8月26日(月)に臨時役員会を開催し、後援会の現状報告(会員数、収支など)、会則の一部改訂、後援会に入会していただくためのお願いの方法などの話し合いを行いました。

(棚山 記)

寄付と後援会入会のお願い

社会福祉法人「北摂杉の子会」後援会の趣旨に賛同され、ご支援して下さる方々の寄付及び後援会への入会をお願い申し上げます。寄付金と後援会費は法人を支援するための資金とさせていただきます。お振込みは右記口座まで。もしくは同封の振込用紙をご利用ください。皆様のご支援とご協力をよろしくお願い致します。

記

1. 寄付金(注)
2. 個人会員 年間一口 2,000円
3. 団体会員 年間一口 10,000円

郵便振込口座北摂杉の子会
00920-8-90859

(注) 任意団体である後援会の領収書では確定申告の際に寄付金控除を受けることは出来ませんので、寄付金控除の出来る領収書をご希望の方は法人の下記口座にお振込み願います。

銀行名：三菱東京UFJ銀行 支店名 高槻支店 口座名：社会福祉法人北摂杉の子会 理事 中村節史
口座番号：5085555

法人へのご寄附に感謝いたします。(平成25年6月1日～平成25年8月31日)

河端良一 棚山薫晴 橋本直也 小川敏夫 植松芳哲 大阪ローターアクトクラブ

後援会入会と会費納入(平成25年5月29日～平成25年8月26日)

相澤美由紀 朝倉千涼 稲田聖子 岩 愛子 岩 敬子 岩 忠 岩 弘子 上前彰子 圓佛誠一郎 大野捷昭 大野忠春 大野晴夫 大野博夫 大野博美 大野容子 小川祥子 小川敏夫 尾木 豊 金光広子 亀田三恵子 西郷和義 砂子敦之 佐竹恭一 塩田裕正 塩田好子 四方あかね 白倉俊雄 新谷 敦 菅沼朋子 副島雄彦 高原加代子 高原正義 高原由江 高宮郁子 武富圭佑 田中由紀子 谷口智恵子 丹藤舞香 丹藤優香 冨坂昭子 冨坂健治 中井喜代子 永井昌明 長尾あかり 長尾あゆみ 長尾杏奈 長尾智久 長尾京子 長尾幸英 中島江美子 中村悦子 中村豪史 中村節史 中村哲史 並河 博 西井多美 西井正美 野口里子 野口良三 長谷川ひろみ 八田 隆 林 堅一 早原君子 平井雅子 平田登代子 平田 実 福田啓子 福田浩三 福田浩隆 本田成美 本間和子 松上文字 松原茂樹 丸山繁一 南木京子 宮城良博 森田 傑 矢橋耕助 矢橋寿樹 矢橋ひとみ 山口秀子 山口 博 山根生江 山根裕史 株式会社イッシン 株式会社いずみ商事 代表取締役 久保常和 株式会社東スティパル

後援会への寄付(平成25年6月1日～平成25年8月31日)

松上文字 矢橋雅文 北村 憲一 林 秀郎 鈴木孝雄 小川 敏夫 矢橋 寿樹 朝倉 千涼

家族会へのご寄附に感謝いたします。(平成25年6月1日～平成25年8月31日)

植松芳哲 本田英世

物品のご提供に感謝いたします。(平成25年6月1日～平成25年8月31日)

金森 柄須賀早智子 長井美代子 藤岡紀子 黒瀬美和子 鶴谷久子 吉岡茂子 不二園芸

ボランティアに感謝いたします。(平成25年6月1日～平成25年8月31日)

草刈茂代 足立和佳 五十嵐理奈 今井春華 立小川剛 懸明美 山本真里 伴野琴巳 上里浩子 坂井恵美子 佐々木映世

(敬称略 順不同)

施設住所一覧

- **社会福祉法人北摂杉の子会 法人本部事務所**
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル203
TEL (072)662-8133 FAX (072)662-8155
[E-mail] info@suginokokai.com
[URL] http://www.suginokokai.com
- **知的障害者生活施設 萩の杜** (施設入所支援・生活介護)
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1
TEL (072)699-0099 FAX (072)699-0130
[E-mail] haginomori@suginokokai.com
- **萩の杜ショートステイセンター ぶれす**
(短期入所・日中一時支援)
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1
TEL (072)699-0844 FAX (072)699-0130
[E-mail] breath@suginokokai.com
- **ケアホーム とんだ** (共同生活介護)
〒569-0814 高槻市富田町5-13-14 101号室
- **ケアホーム みやた** (共同生活介護)
〒569-1142 高槻市宮田町3-4-1 105号室
- **レジデンスなさはら** (共同生活介護)
〒569-1041 高槻市奈佐原3丁目15番1号
- **ジョブサイトひむろ**
(生活介護・就労移行支援・就労継続支援B型)
〒569-1141 高槻市氷室町1丁目14-27
TEL (072)697-2234 FAX (072)697-2222
[E-mail] himuro@suginokokai.com
- **高槻地域生活総合支援センター ぶれいす Be**
(生活介護・就労継続支援B型・短期入所・日中一時支援)
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号
TEL (072)681-4700 FAX (072)681-4900
[E-mail] placebe@suginokokai.com
〈短期入所〉 TEL (072)681-4720
- **生活支援センター あんだんて**
(指定特定相談支援・指定一般相談支援事業)
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号
TEL (072)681-4755 FAX (072)681-4900
[E-mail] andante@suginokokai.com
- **大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか**
(発達障害者支援センター事業)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東1丁目1番6号
TEL (06)6100-3003 FAX (06)6100-3004
[E-mail] act-osaka@suginokokai.com
[URL] http://homepage3.nifty.com/actosaka/
- **研修相談支援室・PASSO**
(法人独自の公益事業〈検査・相談・研修・本人支援・講師派遣〉)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東1丁目1番6号
TEL&FAX (06)4862-5454
[E-mail] o-center@suginokokai.com
[URL] http://oasc.jp
- **児童デイサービスセンター an**
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号
TEL (06)6838-8990 FAX (06)6838-7015
[E-mail] an@suginokokai.com
[URL] http://oasc.jp
- **自閉症療育センター will**
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒569-0077 高槻市野見町3-14 第2高谷ビル2F
TEL (072)662-0100 FAX (072)662-0056
[E-mail] will@suginokokai.com
- **こども相談支援センター wish**
(指定特定相談支援・指定障害児相談支援事業)
〒569-0077 高槻市野見町3-14 第2高谷ビル2F
TEL (072)605-1140 FAX (072)662-0056
[E-mail] wish@suginokokai.com
- **自閉症療育センター Link**
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒573-0032 枚方市岡東町24-10 アイエス枚方ビル3F
TEL (072)841-2411 FAX (072)841-2412
[E-mail] link@suginokokai.com
- **ジョブサイトよど** (生活介護・就労継続支援B型)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号
TEL (06)6838-7007 FAX (06)6838-7015
[E-mail] yodo@suginokokai.com
- **ジョブジョイントおおさか**
(自立訓練〈生活訓練〉・就労移行支援)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東1丁目1番6号
TEL (06)6100-0150 FAX (06)6309-3007
[E-mail] jj@suginokokai.com
- **ジョブジョイントおおさか たかつきプランチ**
(自立訓練〈生活訓練〉・就労移行支援)
〒569-0072 高槻市京口町9番3号 関西産業ビル4F
TEL (072)668-1123 FAX (072)668-1165
[E-mail] jj@suginokokai.com

※■は行政よりの委託事業

発行人 社会福祉法人 北摂杉の子会
理事長 中村 節史
発行所 北摂杉の子会
住所 大阪府高槻市大字萩谷14番地1
発行日 2013年10月10日
定価100円